

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300213
事業所名	グループホーム 扶桑苑

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	町内会に加入し、町内の「歩こう会」に入居者も参加して地域住民と交流している。併設の特別養護老人ホームの夏祭りには地域の人々と共に参加している。入居者手作りの雑巾を夏祭りで提供し、格安なことから地域の人に好評である。7月には地域に相撲部屋の宿舎が設営されるため地域の人と一緒によく見学している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	過去1年間開催されたことはない。以前開催した時、地域の区長の一言で地域主催の「歩こう会」参加が決定しその交流は続いている。その必要性は感じつつもホーム周囲には住宅がなく、また、生活道路からは特別養護老人ホームの影になってホームの存在すら知らない人もいたため、なかなか地域に浸透できないジレンマがある。	×
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	管理者は町の福祉推進委員会にも出席し、社会福祉協議会のメンバーも務めている。ケアマネジャーは介護認定調査員と連携をとっている。地域の赤十字支部の高齢者作品展には入居者の貼り絵、書などを出品している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	今年1回目の家族会を開催した。家族向けのホーム便りは毎月郵送され、各担当者による入居者の近況報告は家族にも好評である。「寒がりだから配慮して」との家族の要望に、冬は服を一枚増やしたり、夏は部屋のエアコンを早く消したりと気を配っている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
	総合評価	×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。